

報道関係各位

**農業と観光との連携による農作業受委託モデル事業
「農を起点とした県内外の異業種交流会」の実施について**

このことについて、企業の社会貢献や社員教育として農作業受委託に取り組む「アグリワーケーション」参加者を対象として、「農を起点とした県内外の異業種交流会」を下記のとおり実施しますので、取材くださるようお願いします。

本事業は、農業の人手不足解消と農を起点とした交流人口の拡大等を目的として、昨年3月に山形県、全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形）及び株式会社JTBの3者で締結した連携協定に基づき実施している農作業受委託モデル事業（別添資料1参照）の一環で実施するものです。

記

- 日時 令和6年10月25日（金）10:00～14:00
- 会場 学びの里TASSHO
（山形県寒河江市大字田代370-1）
- 内容 第一部：10:00～12:00
事例発表及びワークショップ等
第二部：12:30～14:00
交流会
- 参加者 「ラ・フランス」の出荷調整作業に従事した県外企業（5社）
及び県内企業（4社）
- その他 詳細は、別添資料2をご覧ください。

【お問い合わせ先】

○ 事業の全体概要について

農林水産部農業経営・所得向上推進課
課長補佐（農業経営・金融担当）後藤
TEL：023-630-2286
報道監 農林水産部次長 高橋 和博

○ 異業種交流会の詳細について

JA全農山形 営農企画部 営農支援課
佐藤 大輔 TEL：023-634-8134
株式会社JTB 広報室
TEL：03-5796-5833

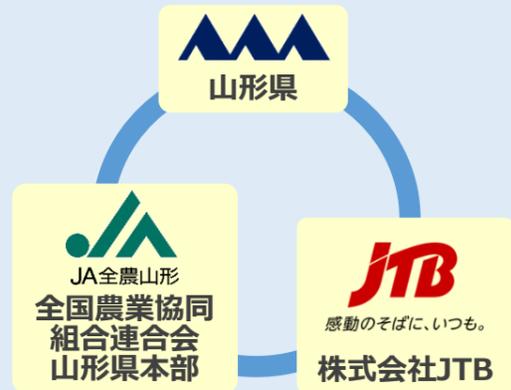
農業と観光との連携による農業人材創出に関する連携協定の概要

※別添資料1 令和6年10月
山形県 農林水産部

○ 本県では、令和5年度から、農業労働力不足の解消と、農を起点とした交流人口の拡大等を目的とした「元気な農業人材確保プロジェクト」の展開を予定しており、山形県、JA全農山形及びJTBの相互連携と協働による三者協定を締結し、プロジェクトの推進体制を強化する。

連携協定の概要

三者連携協定の枠組み



- 締結日
令和5年3月22日（水）
- 協定期間
令和9年3月31日まで
（延長の可能性あり）

協定の趣旨・目的

農業人材の確保をはじめとする本県農業の課題の解決及び農を起点とした関係人口の創出のための連携強化を図るもの。

主な協定項目

- ・首都圏等からの農業に関心のある企業、人材の**本県への呼び込み**
- ・農作業委託のニーズ把握と多様な人材との農作業受委託の調整
- ・首都圏の人材等と**県内の農業・他産業との交流促進**
- ・県産農産物等の地域資源やイベント情報の広報誌、SNS等による周知
- ・農作業体験や農業者等と交流する旅行商品造成

など

農を起点として人材を呼び込む新たなツール

アグリワーケーション

企業・社員 ～社員のワーケーションの合間に農作業に従事～



ニーズ

- ・CSR,SDGs,健康経営等で地方と連携
- ・社員教育による人材育成
- ・異業種交流でのビジネスチャンス開拓
- ・自由で多様な働き方の実現

メリット

- 農業を通じた地域貢献によるCSRの実現
- 現場感覚や新たな視点を持つ人材の育成
- 従業員の心身のリフレッシュ、生産性の向上、健康経営の実現

アグリキャンプ

部活・企業のスポーツチーム ～合宿のついでに農作業に従事～



ニーズ

- ・合宿を通じたチームビルディング
- ・合宿費用、活動費の確保
- ・合宿先でしかできない経験

メリット

- 空き時間の農業従事で活動費の獲得
- 農作業体験を通じたチームワーク醸成

アグリツアー

観光客 ～旅行メニューとして農作業を体験～



ニーズ

- ・山形の魅力を感じられる旅行
- ・農業、農村暮らし体験への憧れ
- ・より充実した旅行、満足感

メリット

- 旅行+ついでに農業従事で賃金を獲得
- 旅先でしか得られない体験や交流

協定締結による具体的な取組み

農作業受委託モデルの構築



県内外の異業種交流機会の提供

農や食、SDGs等をテーマにした県内外企業の異業種交流会の開催

やまがた暮らし・農村暮らし体験

農作業体験+農村や地域の魅力を体感できる交流イベントの開催

期待される効果

○ 多様な人材の活用による、**自走できる農作業受委託モデルの実証・構築**

○ 農を起点とした **関係人口の増加**

関係人口の増加により

- 企業の農業分野への新規参入
- 若者などの新規就農の増加

波及効果

- ・異業種交流による企業活動の活性化、ビジネスチャンス創出
- ・関係人口やリピーター観光客の増加による山形ファンの形成
- ・交流人口の拡大による農村集落の活性化

主な役割

- JA全農山形
- ・県内農家の作業委託ニーズ取りまとめ
 - ・農家との作業内容調整

JTB

- ・首都圏等から多様な働き手を呼び込み
- ・労働者を雇用、作業チームを編成し農作業を受託

山形県

- ・プロジェクトの推進、調整
- ・多様な人材と他産業等との交流の場の提供

目標

- 農作業受委託の参加延べ人数
（R4実績）2,141人 → （R5実績）3,015人 → （R6）5,000人 → （R7）7,000人 → （R8）**10,000人**

農を起点とした県内外の 異業種交流会



日時

2024年10月25日(金) 10:00~14:00 (受付9:30~)

山形県では2023年度より、全農山形とJTBと連携し「元気な農業人材確保プロジェクト事業」を実施しております。ポストコロナを見据え多様な人材を山形県に呼び込み、農作業受委託の仕組みを活用し、農業や地域につなぐモデル事業を展開します。また、農業を起点として、観光・産業等が連携したオール山形の体制で農業労働力不足を解消するとともに、関係人口の創出・拡大による地方創生を目指します。今回、山形にて「アグリワーケーション（ラ・フランス選果×社員研修）」に参加いただいた企業の代表者を異業種交流会にお招きし、県内企業との異業種交流会を実施することにより、山形の企業や魅力を知っていただき、新たなビジネスチャンスへの発展や産業活性化を目指します。

会場

寒河江市の廃校を利活用した 学びの里TASSHO

閉校した旧田代小学校をリノベーションした、宿泊・飲食・里山体験ができる施設。第一部は体育館、第二部は、地元の山の幸を使った郷土料理が堪能できる里山レストラン「たしろ亭」にて開催いたします。



※写真はすべてイメージです

< 第一部 / 発表・ワークショップ >

- 10:00 開会・開会のあいさつ
- 10:10 事業概要と今後の展望について
- 10:20 事例発表 (仮)モンテディオ山形U-23マーケティング部
〜めざせ廃棄果実ゼロの取組〜
- 10:35 ワークショップ
〈テーマ〉
廃棄果実ゼロへの取組でできること
- 11:30 新規企業から一言
- 12:00 講評及び第一部 閉会のあいさつ

< 第二部 / 交流会 >

- 12:30 乾杯のあいさつ
生産者紹介
- 13:00 参加企業紹介
フリー歓談
- 14:00 閉会

参加企業（予定） ※順不同

モンテディオ山形U-23マーケティング部・東日本旅客鉄道株式会社・日本航空株式会社
デロイトトーマツコンサルティング合同会社・一般社団法人 日本経済団体連合会
株式会社フルキャスト・株式会社チェリーランドさがえ・株式会社MAYA STAFFING
株式会社ヒト・コミュニケーションズ 他